

令和 7（2025）年度 滋賀文教短期大学 ティーチング・ポートフォリオ

記入日	年度当初 7 月 1 日 / 年度末 月 日
氏名	神谷昌史
国文学科	学科長、教授
学科以外の兼務職	副学長

ティーチング・ポートフォリオとは、責務、理念、方法、成果、目標の 5 つの要素を含む教育研究業績について記録した資料です。年度当初に責務と理念を記入し、年度末に方法、成果、目標を記入します。本学では自己点検も兼ねています。

ティーチング・ポートフォリオは、本学の全専任教員が記入後、所属学科長に提出することとします。その後、学科長、学長等にてティーチング・ポートフォリオの内容の把握を行い、教育課程における教育力の質の向上に活用します。その際、自己点検・評価委員会や FD 委員会等の関連する委員会や部署と連携することとします。

各教員が記入したティーチング・ポートフォリオは本学ホームページにて 3 年間公表します。

1. 責務（何を行っているのか）

①担当科目

担当科目名	学科	学年
基礎力プログラムⅠ（初年次教育）	国文学科	1
キャリアデザイン	国文学科	1
インターンシップ	国文学科	1
インターンシップ	国文学科	2
シティズンシップ論	国文学科	2
シティズンシップ論	子ども学科	2
日本国憲法	子ども学科	2

②担任制度

担任（1 年生）	無	担任（2 年生）	無
----------	---	----------	---

③委員会活動

運営協議会	副委員長	SD 委員会	
研究倫理委員会	副委員長	地域連携委員会	
危機管理委員会	副委員長	入学者選抜委員会	副委員長
自己点検・評価委員会	委員	広報委員会	
認証評価準備委員会	委員	高大接続・連携委員会	
図書委員会		保育・教育実習運営委員会	
学生委員会		ハラスメント防止委員会	委員
障害学生支援・学生サポートセンター運営 WG		教員資格審査委員会	副委員長
キャリア支援委員会		教員採用選考委員会	副委員長
教務委員会	委員	湖国カルチャーセンター運営委員会	
FD 委員会		授業料等減免者審査委員会	
奨学生奨学金審査委員会	委員長	紀要編集委員会	委員
学生調査委員会	委員	教職実践演習運営委員会	
教学調査委員会	委員長	学長推薦選考委員会	
不正調査委員会	副委員長	衛生委員会	

④実習業務

保育実習部会長		小学校部会長	
幼稚園実習部会長		子ども学科 実習事務	

⑤びわ湖東北部地域連携協議会

* 文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」タイプ 3 地域社会への貢献プラットフォーム型

協議会員	担当	WG-A（産業振興に向けた産官学連携事業）学内代表	
協議会事務局		WG-B（地域コミュニティの活性化事業）学内代表	
WG-D（事業管理）学内代表		WG-C（地域を担う次世代人材の育成）学内代表	

⑥外部資金獲得に伴う研究活動

外部資金獲得	有 ・ 無
助成者	
資金名	
研究種目	
期間	
助成金額（期間中合計）	
研究課題	
備考（分担者等）	

2. 理念（どのような考えに基づいて行っているのか）

教育理念	学園創設者松本富士之助「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教育者の養成が重要である」
建学の精神	「知育」・「徳育」・「体育」の鼎立と調和の取れた人間形成
学科の教育理念・目標	【国文学科】 学生の学習と大学生活の両面を中心に、学生支援に注力する。
個人の教育理念・目標	今年度は学科長だけでなく、副学長の職を命じられた。昨年度の学長補佐職以上に学長のサポートを行うことが今年度の第一の任務となる。日常的な業務とともに、令和8年度末の本学閉学を滞りなく行えるよう、広範な職務を行うことが今年度の第一の目標である。そのためには、教職員と常時連携していくことが重要になるため、教職員と日常的に連絡・相談・協力を行うことが第二の目標である。 今年度も国文学科長を務めることとなり、現状では令和8年度までが任期となっている。募集停止が発表されて以来、学生には不安がつきまとうケースが増えている。そうした不安を解消し、学生が学修成果を獲得して卒業できるよう、本年度の国文学科の目標は「学生の学習と大学生活の両面を中心に、学生支援に注力する」とした。この目標を達成するため、学生の状況を国文学科教員、さらには各所と共有しながら、学生支援に注力する。特に足元の国文学科について、教員を組織的にまとめることが昨年度も課題であったが、今年度はより一層まとめられるように取り組んでいく。 一教員としては、授業や担任、その他さまざまな側面で学生とかかわる機会が少ないため、教職員と情報共有を密にし、直接かかわる場合に遺漏なく支援ができるようにしたい。また授業の改善を引き続き図り、少しでもよい授業を行いたい。

3. 方法（その考えをどうやって実現しているか）

授業	
授業以外 （学生支援等）	

4. 成果（その方法を行った結果、どうだったか）

授業	
授業以外 （学生支援等）	

5. 目標（今後どうするか）

授業	
授業以外 （学生支援等）	

6. 記載内容に関する根拠資料

- ①令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 シラバス
- ②令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 科目別成績分布状況
- ③令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 担任一覧表
- ④令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 委員会構成名簿
- ⑤令和7(2025)年度 滋賀文教短期大学 組織図

以上